
ポスター発表

11月1日 9:30 – 11月2日 15:30 E会場

討論時間： 11月1日 11:45-12:30 (奇数番号)、12:30-13:15 (偶数番号)

P-1 人類の進化と活性酸素 (今こそジョン・スノウのレポートに学ぶ)

～水素化珊瑚カルシウム (CCH) 含有ガムが、なぜ今必要なのか!?～

○中山孔壹 (中山歯科矯正医院)

P-2 現生日本人の冠状縫合と中心前溝の位置関係

○小林靖 (防衛医大), 松井利康 (防衛医大), 灰塚嘉典 (杏林大・医), 松村譲児 (杏林大・医)

P-3 ホモロジー画像解析法によるマカク性皮腫脹の組織学的定量

○小野英理 (東京大・理), 中根和昭 (大阪大・医), 鈴木樹理 (京都大・霊研), 石田貴文 (東京大・理)

P-4 ヒトの環境適応における自己免疫疾患関連遺伝子に対する選択圧の検証

○Shigeki Nakagome (University of Chicago), Gorka Alkorta-Aranburu (University of Chicago), Roberto Amato (Università degli Studi di Napoli "Federico II"; University of Chicago), Bryan Howie (University of Chicago), Richard R. Hudson (University of Chicago), and Anna Di Rienzo (University of Chicago)

P-5 脳性マラリアと *SH2B3* 遺伝子多型との関連

○中 伊津美 (筑波大・医), ジンタナ パタラポテイクル (マヒドン大・医), ハッタイラ ハナナンタチャイ (マヒドン大・医), 大橋順 (筑波大・医)

P-6 ゲノムワイド関連解析による体毛の濃さに関連する SNP の探索

○佐藤丈寛 (琉球大・医), 渡辺千晶 (琉球大・医), 山口今日子 (琉球大・医), 川口亮 (琉球大・医), 山本健 (久留米大・医), 石田肇 (琉球大・医), 木村亮介 (琉球大・医)

P-7 ヒトの手形態に関するゲノムワイド関連解析

○米須学美、佐藤丈寛、山口今日子、渡邊千晶、川口亮 (琉球大・医)、山本健 (久留米大 医)、石田肇、木村亮介 (琉球大・医)

P-8 ヒトアキレス腱における膠原細線維構成の部位差の形態計測学的検討

江連博光 (昭和大・医)、森陵一 (昭和大・医)、伊藤純治 (昭和大・保健医療)、大塚成人 (昭和大・医)

P-9 ニホンザル足指屈筋群の筋線維タイプ構成

○小島龍平 (埼玉医大・保健医療)

P-10 ニホンザル (*Macaca fuscata*) における手掌・足底の接地部の変化：四肢のプロトラクションと

の関係

○後藤遼佑、日暮泰男、熊倉博雄 (大阪大院・人間科学)

P-11 ヒトとチンパンジー足部構造の3次元有限要素モデル

○中村友哉、荻原直道 (慶應大・理工)

P-12 霊長類の口コモーションを知るために – 発達、木登り戦略、左右差、加齢 –

○中野良彦 (大阪大・人間科学)

P-13 ヒト二足歩行の起源：8 . 口コモーション時の頭部の方向維持性の獲得について

○藤野 健 (都老人研)

P-14 投槍器のしくみ：身体から投射体への動力伝達

○日暮泰男、藤原英大、熊倉博雄 (大阪大・人間科学)

P-15 測定法および荷重負荷の違いが外反母趾角値に及ぼす影響

○梅原彰宏 (帝京平成大・院)、竹内京子 (帝京平成大・院)、松村秋芳 (防衛医大・生物)、佐藤裕二 (帝京平成大・ヒューマンケア)、岡田守彦 (筑波大学)

P-16 CT画像を用いた副鼻腔の形態解析：沖縄-本土間比較

○伊藤毅、木村亮介、龍康殿あづさ（琉球大・医）、深瀬均（北海道大・医）、土屋奈々絵、村山貞之、石田肇（琉球大・医）

P-17 臨床用 CT 機器と Microsoft Excel を利用した大腿骨皮質の定量評価の試み

○弦本敏行（長崎大・医）、佐伯和信（長崎大・医）、岡本圭史（長崎大・医）、大神敬子（長崎大・医）、分部哲秋（長崎大・医）

P-18 簡易 3D 構築像による形態分析の実用性 -現代日本人、南九州古墳人の寛骨耳状面を例として-

○佐伯和信、弦本敏行、岡本圭史（長崎大・医）、真鍋義孝、北川賀一、小山田常一（長崎大・歯）、分部哲秋（長崎大・医）

P-19 北海道礼文島浜中 2 遺跡出土の SAPHO 症候群と推定される骨病変を有するオホーツク文化期の

成人女性人骨

岡本有可、○石田肇、木村亮介、佐藤丈寛、土屋奈々絵、村山貞之（琉球大・院医）、深瀬均（北海道大・院医）、長岡朋人（聖マリアンナ医大）、安達登（山梨大・医）、米田穰（東京大・総研博）、加藤博文（北海道大・アイヌ先住民研）

P-20 土井ヶ浜遺跡出土の 124 号人骨における傷痕の古病理学的調査

○大藪由美子（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム）

P-21 青森県で出土した江戸時代人骨の齶蝕

藤澤珠織（青森中央学院大・看護）

P-22 鹿児島県肝付町塚崎古墳群 19 号地下式横穴墓出土の古墳時代人骨

○竹中正巳、下野真理子（鹿児島女子短大）

P-23 鹿児島県肝付町塚崎古墳群 19 号地下式横穴墓出土人骨の歯石から検出されたデンブンプン粒

○下野真理子、竹中正巳（鹿児島女子短大）

P-24 千葉県大膳野南貝塚から出土した縄文後期人骨群の形態学的検討

佐伯史子 (科博・人類)、○澤田純明 (聖マリアンナ医大・解剖)、鈴木敏彦 (東北大院・歯・歯科法医情報)、波田野悠夏 (日本歯科大・新潟生命歯)、篠田謙一 (科博・人類)

P-25 9世紀の太政官令「飛驒の民の顔付は他国と違う」を裏打ちする状況；7世紀人骨と現代人 DNA より

○住 斉 (東京大・人類学)、田中和彦 (長野県・上田染谷丘高校)、佐藤陽一 (徳島大・ヘルスバイオサイエンス研究部)、針原伸二 (東京大・人類学)

P-26 石川県内における竪穴状遺構出土の焼人骨

○畑山智史 (埼玉大・文化科学)

P-27 火葬墓出土人骨にみられるガラス状膠着物質-岡山県井原市上岩崎中世墓を中心として-

○足立 望 (岡山理大・総合情報)

P-28 中国ツングース系少数民族の歯冠計測にもとづく分析

○片岡正太 (九州歯科大・歯)、小林繁 (九州歯科大・歯)、安細敏弘 (九州歯科大・歯)

P-29 ニホンザルにおける下顎大白歯相対サイズの地理的変異

○浅原正和 (京都大・霊長研)

P-30 上顎歯牙の萌出による齢査定と北小松遺跡出土 *Sus scrofa* 頭蓋の形態計測

○江川達也 (岡山理大・総合情報)

P-31 先史人類は琉球列島へイノシシ・ブタを持ち込んだのか？：現生リュウキュウイノシシの分子系

統解析

○高橋遼平 (山梨大・医)、姉崎智子 (群馬県立自然史博)、黒澤弥悦 (東京農大・学術情報)、本郷一美 (総研大・先導研)

P-32 アミノ酸を用いた遺跡出土骨試料の放射性炭素年代測定法

○板橋悠(東京大・新領域)、高野淑識(海洋研究開発機構)、小川奈々子(海洋研究開発機構)、大河内直彦(海洋研究開発機構)、米田穰(東京大・総合博物館)

P-33 同位体比分析による出身国・地域の新規推定法の検討

○染田英利(防医大・医)、覚張隆史(北里大・医)、橋本正次(東歯大・歯)、小林靖(防医大・医)、米田穰(東大・総合研究博物館)、石田肇(琉球大・医)

P-34 写楽の作品時期を作品部位の比率より検討

○矢崎勝巳(矢崎郷土史研究所)

P-35 日本人類学会教育普及委員会活動報告 2014

○日本人類学会教育普及委員会